



四季想「涼州詞」……………	1
2014年清涼飲料市場 ……………久保喜寛	2
2014年の清涼飲料市場は5年連続の生産量の増加を目指したものの、消費税増税と盛夏シーズンでの天候不良等の影響を受け生産量は前年比0.9%減となった。500mlサイズの小型PETボトルでボリュームを伸ばしているミネラルウォーターのほか、分野別の動向と15年の市場について解説する。	
企業最前線～経営者に聞く～③⑨ ……………マルハニチロ株式会社	8
旧マルハと旧ニチロの統合10周年となる2017年度を目標とした中期経営計画を策定。初年度である2014年度は、加工食品分野の再生のための1年となった。2年目以降のV字回復、成長年度に向けて、お客様目線での価値観や利便性等を視野にいれた商品の開発、販売を行っていく。	
平成26年度事業・技術功績者の横顔 ……………日本缶詰びん詰レトルト食品協会	10
日本缶詰びん詰レトルト食品協会定時総会・ 理事会の概要……………	14
全国食品缶詰公正取引協議会理事会・定時 総会の経過……………	17
2014年の缶詰輸入 —水産、ジャムが増加、輸入量全体は減少— ……………日本缶詰びん詰レトルト食品協会	19
2014年(1～12月)の缶詰輸入量は66.5万トンで前年対比98.0%、水産、ジャムの分野で増加、果実、野菜、食肉分野で減少した。輸入金額は163,166百万円(CIF 価格)で前年対比は105.4%と引き続き増加している。多くの品目で、円安の影響による輸入単価の上昇、輸入数量の減少がみられる。本稿では、国別、主要品目別にこれらの動向を解説する。	
容器詰食品のクレーム、事故を考察する(全11回) ＜4. 化学的分野その他＞ ……………武田 淳	30

缶詰見聞・体感録 第56号 缶詰甲子園 ……………黒川勇人	32
ニュースファイル(2015年5月)……………	35
❖放射路 食品・流通……………	44
ニュース&トピックス……………	53
2014年の缶詰、びん詰、レトルト食品生産数量 ……………	57
2014年(1～12月)の缶びん詰生産は321万トン(5億1,819万箱。実箱)で、前年対比98.7%と減少している。このうち飲料缶詰を除いた一般食料缶詰、びん詰の生産は、33.2万トン(4,646万箱)で前年対比101.4%と増加している。飲料缶詰の生産は、287万トン(4億7,173万箱)で前年対比98.4%と減少。レトルト食品の生産は、36.8万トン(5,372万箱)で前年対比102.0%と増加している。	
こちらケベックNo.232 ……………リシャール・ミッシェル、浜垣有加里	85
缶詰、びん詰、レトルト食品全国販売データ 2015年5月品目別商品別金額シェア ……………	91
*缶詰びん詰レトルト食品統計特集号申し込みについて ……………	56
*****	
主任技術者コーナー……………18	海外ジャーナル……………83
缶詰短信……………38	日本介護食品協議会コーナー……………90
缶詰輸入情報……………46	研究所だより……………101
缶詰輸出情報……………48	協会日誌……………102
缶詰関連統計情報……………50	編集後記……………104
魚肉ソーセージコーナー……………52	
*****	
表紙カット (株)日本出版制作センター レイアウト 澄田 静	